

令和4年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ

[ピアノコース]

到達指標

1 [知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

(1) 幅広い音楽的知識を身につけ、音楽への理解を深めることができる。

2 [思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。

(1) 音楽的素養をもとに思考・判断・想像力をもって表現することができる。

3 [技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

(1) 音楽活動に必要な専門的技術・コミュニケーション能力を身につけることができる。

4 [関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

(1) 自己の感性と人間性を養い、音楽と人や生活、社会とのつながりに関心を持って意欲的に取り組むことができる。

① [知識・理解]	② [思考・判断・表現]	③ [技能]	④ [関心・意欲・態度]
-----------	--------------	--------	--------------

1年次						2年次							
科目	期	科目名	①	②	③	④	科目	期	科目名	①	②	③	④
専門科目	前期	ピアノⅠ	○	◎	◎	○	専門科目	前期	ピアノⅢ	○	◎	◎	○
		ピアノキャリア実践Ⅰ	○	◎	◎	○			副科電子オルガンⅢ	○	○	◎	◎
		ピアノ応用実践Ⅰ	◎	◎	○	○			P・Or アンサンブルⅡ	△	◎	◎	○
		和声法Ⅰ	◎	○	○	△			ピアノ指導法Ⅰ	○	◎	△	◎
		音楽総合特講Ⅰ	◎	◎	○	○			グレード対策A(ピアノ)Ⅲ	○	○	◎	◎
		音楽理論Ⅰ	◎	○	-	○			グレード対策BⅢ	◎	◎	○	△
		音楽史Ⅰ	◎	○	○	○			グレード対策A(電子オルガン)Ⅲ	○	○	◎	◎
		ヴォーカルⅠ	○	◎	○	○			グレード対策応用Ⅰ	◎	○	○	△
		ソルフェージュⅠ	◎	○	△	○			音楽総合特講Ⅱ	○	○	◎	◎
		音楽心理学	◎	○	△	◎			ヴォーカルⅢ	○	◎	◎	△
		発達心理学	◎	◎	○	○			ソルフェージュⅢ	◎	○	○	△
		子どもの保健	◎	○	△	△			和太鼓Ⅰ	△	○	◎	○
	教育原理	◎	○	○	△	作譜	◎	◎	△	△			
	音楽療法実践Ⅰ	△	◎	◎	△	生涯スポーツⅠ	◎	○	○	◎			
	後期	ピアノⅡ	○	◎	◎	○	臨床における即興技法Ⅰ	◎	◎	◎	△		
		ピアノキャリア実践Ⅱ	○	◎	◎	○	音楽療法・臨床	◎	◎	△	△		
		ピアノ応用実践Ⅱ	◎	◎	○	○	音楽療法実践Ⅲ	◎	○	○	◎		
		P・Or アンサンブルⅠ	△	◎	◎	○	卒業演奏Ⅰ	△	◎	◎	△		
		和声法Ⅱ	◎	○	○	△	ピアノⅣ	○	◎	◎	○		
		音楽総合特講Ⅱ	◎	◎	○	○	副科電子オルガンⅣ	○	○	◎	◎		
		音楽理論Ⅱ	◎	○	-	○	ピアノ指導法Ⅱ	○	◎	○	○		
		音楽史Ⅱ	◎	○	○	○	楽曲研究	◎	○	○	○		
		ヴォーカルⅡ	○	◎	○	○	ピアノ・電子オルガン特講	◎	○	○	○		
		ソルフェージュⅡ	◎	○	△	○	グレード対策A(ピアノ)Ⅳ	○	○	◎	◎		
スポーツ・レクリエーションⅠ		◎	○	○	◎	グレード対策BⅣ	◎	◎	○	△			
音楽療法演習		○	○	◎	◎	グレード対策A(電子オルガン)Ⅳ	○	○	◎	◎			
音楽療法・基礎	◎	◎	△	△	グレード対策応用Ⅱ	◎	○	○	△				
音楽療法実践Ⅱ	△	◎	◎	◎	ヴォーカルⅣ	○	◎	◎	△				
公務員・一般職試験対策Ⅰ	◎	◎	○	△	ソルフェージュⅣ	◎	△	◎	△				

	ホビユア-音楽史	○	○	○	◎
	和太鼓Ⅱ	△	○	◎	○
	生涯スポーツⅡ	○	○	○	◎
	臨床における即興技法Ⅱ	◎	○	◎	△
	音楽療法・技法	◎	◎	△	△
	音楽療法実践Ⅳ	◎	○	○	◎
	卒業演奏Ⅱ	△	◎	◎	△